

2019年度 学校教育自己診断分析・結果

早春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本校教育にご理解・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、12月に実施しました学校教育自己診断の結果・分析をお知らせいたします。保護者の皆様の提出率は昨年同様87.7%でした。多くの保護者の皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。今年度も過去3年間の肯定的評価を経年比較するとともに、今年度の教育目標と照らしあわせながら分析を行いました。

【保護者】結果の分析と考察（別表1）

昨年度はどの項目もかなり高い評価をいただいていたのですが、今年度は19項目で9割以上の肯定的評価を得る結果となりました。経年比較すると、昨年とほぼ同じまたは上回っている結果となった項目も19項目ありました。しかし、課題の残る結果となっている項目もあります。今回は高く評価されている項目と課題のある項目に焦点を当て考察し、来年度に繋げていきたい存じます。

（高く評価されている項目）

9割を超えている項目は24項目の中で19項目もあり、その中でも設問1「交北小はいい学校」96.8%、設問8「先生は保護者の相談に丁寧に応じてくれる」95.5%、設問14「運動会や遠足など学校行事は充実している」96.5%と非常に高い評価をいただきました。今年度は教員一人ひとりとしてではなく、「1チーム」で様々な取組みに学校として関わり、子ども達や保護者のニーズに応えるべく先生方は毎日、丁寧に、授業の準備や教材作りなど努力を重ねてきた結果を評価いただけたと喜んでおります。また、関係のある項目として設問2「保護者の願いに応えた教育を進めている」93.5%は昨年より1ポイント上昇しました。

（生活指導）

指導については本校の教員は子ども達一人ひとりに寄り添い、丁寧に気持ちを聞いている場面をよく見ます。その結果は設問6「子どもたちの意見を大切にしている」93.5%、設問7「子どもをよく理解している」92.3%に反映されました。設問16「挨拶や基本的生活習慣を身につけさせる」93.8%、設問18「人権を尊重した指導」92.4%、そして設問17「生活指導は適切である」89.5%についてはH29年度より5ポイント高い過去最高の結果となりました。今後も子ども達の気持ちに寄り添った丁寧な指導を心がけますが、甘やかすのではなく、「ダメなときはダメ」と言い続け、時には厳しい態度で指導することもありますのでご理解ください。

また、クラスづくりについては設問4「学校で楽しくすごしている」94.6%で昨年より1ポイント低く、設問9「いじめのないクラス作りに取り組んでいる」93.0%は昨年とほぼ同じ結果でした。90%は超えていますが、来年度は95%を超えるよう努力してまいります。

（学習指導）

学習指導については「協同学習」（学びあいの学習）を研究テーマとして、『算数』を中心に本年度は授業改善のために4月当初から有田市立宮原小学校下田前校長先生を講師でお招きして5回の研修を重ねてまいりましたが、残念ながら設問5「先生は分かりやすい授業をしている」95%で昨年より1ポイント低い結果でした。また、「学びあい」なので授業中お互いに教え、聞き合う場となることもあって、設問10「落ち着いた雰囲気での授業」は87.4%で昨年より3ポイント低い結果でした。

算数の学力は上昇していますので、アンケートの質問の仕方が悪かったのではないかと反省するところです。また、設問24「学習環境は整備されている」91.3%で初めて90%を超えました。教室のユニバーサルデザイン（教室の清掃の徹底・教室の前・後で掲示物を整備している）が行き届いている結果があらわれました。

（評価が低く課題のある項目）

特に評価の低い項目はありませんでしたが、課題のある項目は設問12「環境・福祉・外国語の教育に取り組んでいる」85.2%でした。外国語については3・4年で「外国語活動」5・6年で「外国語（英語）科」として、時間講師の教員と担任とでチーム・ティーチングに取り組んでいます。保護者の方々には見えてこない部分があると思いますので、来年度は授業参観など積極的に取り組みを実施し、評価をいただく機会を持つよう心がけます。「環境」については穂谷川の清掃工場や浄水場の見学、「福祉」については地域の福祉施設（オレンジハウス・ひだまり・わかたけ）の見学などを実施しながら学習しています。また、設問23「情報発信は適切である」89.8%については昨年度より5ポイント低い結果でした。「保護者のご意見」にも『ホームページの更新ができていない』と指摘を受けています。学校としても反省すべき事柄なので、定期的な更新をしていくよう心がけます。誠に申し訳ありませんでした。また、設問22「保護者や地域の人々と交流する機会を設けている」90.2%は昨年より3ポイント低い結果でした。子ども達の結果の中でも地域行事への参加率がかなり減少しているため、地域行事の見直しも考えていく上でも地域コミュニティ協議会にアンケート分析結果を報告していきたいと思っております。

（保護者の主な意見より）

●**トイレの設備・改修について**：最も多い意見が「トイレ設備、改修」についてでした。トイレの改修は教育委員会に申請はしていますが、予算のこともあり、簡単にはいきません。改修するとしても教室棟からでなく、古い施設の管理棟からとなるでしょう。現時点ではトイレの使い方に気を付けることや清掃をしっかりすることに力を入れていきます。

●**ホームページの更新**：次に多かったのが「ホームページの更新」でした。これは上述したように係の教員とともに定期的な更新に努めてまいります。

●**その他**：運動会の組立体操で行うトラストフォールについての危険性については十分考慮した上で実施しましたが、来年度の検討事項に入れておきたいと思っております。欠席をする際の「連絡帳」については個人情報漏洩のないように細心の注意を払うよう担任に申し渡します。保護者の皆様から多数のご意見、ご要望いただきました。その他の意見は、真摯に受け止め、全教職員とともに来年度に向け、具体的な方策を立てて、改善を図ってまいります。

【児童】結果の分析と考察（別表2）

今年度は経年比較ができる項目 37 項目と学習・読書・テレビやゲームの時間を問う項目 5 項目のアンケート調査をしました。経年比較ができる設問の内、19 項目が 90%以上の非常に高い結果、9 項目が 80～90%の高い結果となりました。残りの 9 項目については課題のある項目が多く、学校や家庭、地域で考えていかなければならない課題を含んでいます。これらについて考察し、学校で検証しながら令和 2 年度に繋げてまいります。

（学校生活に関わる項目）設問 1～9・設問 20

【学校生活の充実】子どもたちが特に高く評価しているのは昨年同様、設問 9「運動会や遠足、宿泊行事は楽しい」98.2%設問 8「クラブ活動は楽しい」97.4%でした。その他、設問 1「学校は楽しい」90.7%、設問 2「きまりを守っている」92.9%、設問 3「協力して掃除をする」93.8%、設問 20「先生は話を聞いてくれ、相談に乗ってくれる」94%と高い評価でした。学校で企画している行事に満足している児童が多く、それが学校生活の楽しさにつながっています。また、90%には達しませんでした。設問 6「クラスは落ち着いて勉強をすることができる」86.4%は昨年より 2 ポイント高く評価されていて、クラスが落ち着いて学習できる場になっていることが証明されました。

【学校生活の課題】設問 3「いじめはない」73.5%、設問 5「いやなことをされることなく安心してすごせる」83%はそれぞれ昨年度より 3 ポイント低くなっていました。いじめについては児童が「いじめを受けた」と感じ、訴えた時点で「いじめ事象」ととらえます。よく、おもしろがってからかたり、いじめているつもりはないが、遊びのつもりで物を隠す児童がいますが、いくら仲のよい友達同士であっても「いやなことをされた」と感じ、訴えられると「いじめ」になることを理解させ、「人の嫌がることをしない事」「冗談でも人を傷つける事」などが無いように担任をはじめ、教員全員でしっかり子ども達の様子を見ていくよう指導してまいります。

（授業の様子、学習状況に関わる項目）設問 10～19・設問 32

【授業は高く評価されている】授業に関わる項目では 2 項目を除き、その他は 90%を超える素晴らしい結果となりました。子どもたちが特に高く評価しているのは設問 12「授業の目標（めあて）が示されている」96.7%、設問 16「道徳の時間は大事なことを考えさせてくれる」95.8%と過去最高の結果となりました。道徳については山田中学校区全体で研修を行い、教員同士が相互に参観し、「考え、議論する道徳」の授業を積み上げてきたことが結果に表れました。交北小学校では上述したように、「協同学習」を研究テーマとして授業改善を実施しています。そのことが「授業はよくわかり、楽しい」91.2%、「授業で、ほかの人と相談したり、考えを出し合う機会がある」93.2%の高い評価につながりました。また、「先生は頑張ったことをほめてくれ、間違ったことは真剣に叱ってくれる」91.8%や「分からないことは丁寧に教えてくれる」94%から分かるように教員と児童の関係が良いことが見て取れます。

【学習状況の課題】設問 13「振り返り活動をよくする」90.4%は 90%を超えているものの昨年より 5 ポイント低い結果となった。授業は「めあて」で始まり、児童の「振り返り活動」で終わることを授業者である教員が意識し、45 分間の授業を計画的に行い、より深く考える活動を取り入れた授業

創りをめざしていきます。設問 17「ICT 機器をよく使う」80%は昨年より 1 ポイント上昇したが、PC 1 教室、教室の TV にパソコンをつないでもインターネットにつながらない状況では ICT 機器を教員が積極的に使用したくても無理があるので、教室でインターネットに繋げて授業を効果的にできるよう教育委員会に意見を陳情していきたいと思っています。また、設問 14「外国語の授業は楽しい」87.5%は昨年度より 1 ポイント低い結果でした。来年度から新学習指導要領が施行され、5・6 年生で、中学生と同じ外国語の授業、3・4 年生で外国語活動が本格的になってきます。交北小学校では担任の先生が英語の授業ができるように取組みを進めてきましたが、英語の専科ではないので、中学校の英語の教員や英語専科の講師とも連携し、英語の授業力向上をめざしていきたいと思っています。

（児童本人に関わる項目）設問 21～40

【課題のある項目】設問 22.23.24 は「読書」についての項目で、本校では朝読書・読書月間に取り組むとともにボランティアによる読み聞かせや絵本の広場を行い読書活動に取り組んでいるところです。しかし、まったく本を読まない子どもが全体で 26.9%、読書好きな子どもも増加していません。6 年生では 38.8%、2 年生では 35%の子どもが本を読まない状況にあります。課題図書による読書感想文、調べ学習など児童が目標をもって達成可能な取組みをする必要を感じています。次に設問 28.29.30 は「家庭学習」の項目で、1 時間以上学習している児童は 44.9%で、昨年より 10%減少しています。「まったくしない」児童も 9.2%いる状態です。学年別で見ると（図 2）2 年生、6 年生の学習時間が少ないことが目立ちます。また、自主学習に取り組んでいる児童は昨年度より 3 ポイント減少し、

54.6%と低い結果になっています。宿題を必ずする児童は 94.2%なので、宿題だけをしている状況と分析できます。宿題だけでは学力はつきません。習ったことを復習することで学力はついていくので必ず復習はしてほしいと思います。読書や家庭学習習慣、そして TV やゲームの時間は、家庭の協力が欠かせないものです。学校では一生懸命勉強しています（93%）が、家庭で復習しないために忘れてしまいます。人間は忘れていく動物です。繰り返し学習をすること（自主学習）で学力は定着しますので、ご家庭でも一緒に勉強してあげてください。

【自分自身を高めようとしている項目】「失敗を恐れなくてチャレンジする」88.1%「人の役に立つ人間になる」95.6%「最後まであきらめずにやりとげる」90.5%など児童の意識が高まっています。

子どもたちが将来の夢を持ち、自分には良いところがあり、「やればできるんだ!」という気持ちを持ち続けていけるように、学校ではこれからも子どもたちの応援をしていきます。保護者の皆様も学校の方針を理解していただき、子どもにとって一番良い支援を学校とともにお願いいたします。

